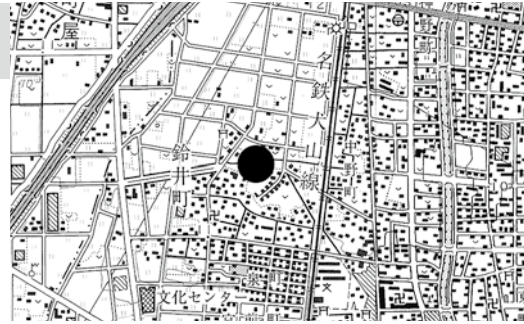


ごさんじ
御山寺遺跡

所在地 岩倉市鈴井町
(北緯35度17分18秒 東経136度52分04秒)
調査理由 緊急地方道路整備事業3・3・8号一宮春日井線
調査期間 平成19年4月～平成20年2月
調査面積 4,150㎡
担当者 石黒立人・川添和暁



調査地点(1/2.5万「一宮・小牧」)

調査の経過 本遺跡の発掘調査は、緊急地方道路整備事業3・3・8一宮春日井線に関わる工事の事前調査として、愛知県建設部都市整備課から愛知県教育委員会を通じた委託事業である。今年度は4年目となる調査で、名鉄犬山線東側区域の調査である。道路などから、調査対象域をA～Fの6調査区に分け、農業用水の関係からF区のみFa区・Fb区に分けて調査を行った。

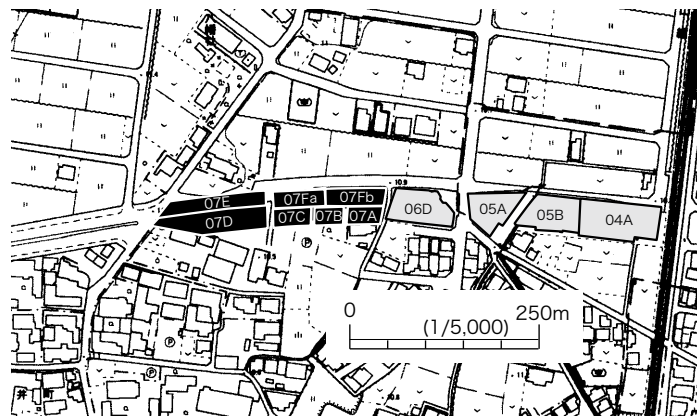
立地と環境 遺跡は、岩倉市中野町および鈴井町にまたがる、東西約500mの範囲に広がっている。当地は、現五条川右岸の犬山扇状地から沖積平野に移行する地点に立地しており、現地標高が約11mを測る。当遺跡周辺には、ノンベ遺跡・西北出遺跡・大地遺跡・町屋遺跡など、縄文時代あるいは弥生時代の遺構・遺物を出土する遺跡が点々と確認されている。

調査の概要 遺跡の様相は、旧河道の西側に当たるD区・E区の様相と、幅広の旧河道が展開するA区・B区・C区・F区の様相と、大きく二種類に分けられる。

1. D区・E区

縄文時代・弥生時代 幅広の旧河道の西側に当たるこの調査区では、調査区東端で旧河道の肩が検出されており、流水時期は別としてもこの地形の傾斜は、各時代を通じて同様に存在していたようである。

調査区全体に、黒色土の堆積が確認された。この堆積のなかで、地形が高くなる、D区北端からE区にかけて地形の凹凸に沿って、縄文時代晩期前半期を中心とする土器片・石器が出土した。黒色土の堆積は最大で厚さ20cmほどを測り、遺物の出土は黒色土上面が多く黒色土中からも出土した。黒色土は部分的に炭化物を包含しており、当時の活動の場としての状況の解明は、今後の課題である。また、弥生前期の深鉢片を出土する土坑や、有茎鍬も出土しているが、より散発的である。



07年度調査区位置図

古墳時代前期～中期 黄褐色砂質シルトを挟んで、古墳時代前期を中心とする集落跡が検出された。調査区中央部付近には竪穴建物跡が重複しており、調査区東側の旧河道西側では、旧河道に併行して溝が複数条検出された。E区では、調査区西端でも溝が検出されており、幅30mほどしかないこの細長い空間が竪穴建物跡の存在する区域かもしれない。竪穴建物跡展開域の東端は、溝の展開域の西端と重複しており、この区域付近では、多量の焼土・炭化物を含んだ、土器集積跡が複数地点で確認されている。竪穴建物跡は、合計20軒ほどが検出された。平面プランは幅5m前後の方形を呈するもので占められており、掘り方内に周溝がないものがほとんどである。保存状況が良好なところでは、掘り方のみならず、貼床・機能面を示す炭化物層・埋土の様子が観察された。また、若干数ではあるが、西三河地域でしばしば認められる、掘り方の底部において幅広の周溝を巡る例も確認されている。溝は5条ほど検出されている。検出時で幅0.5～1.5m、最大で深さ約1mを測る。溝の両脇は、掘削時などの土を盛り上げて、堤状にしているようである。すべてが同時期に機能していた訳ではなく、埋められた上に上述したような土器集積が埋土上面に形成されたり、埋まった埋土を再掘削するなどの痕跡が確認されている。これらの遺構群は、松河戸式期以降に形成された褐色中粒砂層によって部分的に覆われていることが確認されている。

出土遺物としては、古墳時代の土師器を主体として、竪穴建物内から鏃と考えられる鉄器と、東端の旧河道内から石製管玉が出土した。

古代 D区において、古代の時期と考えられる竪穴建物跡が1軒のみ検出されている。一辺5mほどで平面プラン方形を呈するもので、床と想定される機能面も検出されており、全体の掘り方としては深さ約20cmを測る。遺構埋土および遺構検出層は、やや黒色の強いシルト質砂層であった。また、古代に属すると考えられるピット群が検出されており、掘立柱建物が存在していた可能性が考えられる。

古代末～ この時期の遺構としては、旧河道への落ち際などに展開する礫群および土坑群がある。

中世前半 D区では、礫群が旧河道の西岸側から東側斜面に向って、投棄あるいは崩れたような形で検出された。礫群は、不定形ながらまとまりを保って存在しているようであるが、重層的な重複関係は著しくなかった。礫は遺跡の基底を成す、濃飛流紋岩が圧倒的多数を占め、中には被熱を受けたと考えられるものも含まれている。周囲からは、折戸53窯式に比定される灰釉陶器から山茶碗第7型式までが多量に出土し、遺物の中にも黒色の炭化物痕が認められるものがある。D区では、旧河道の西岸際まで近世以降の水田掘削が及んでおり、礫群以外の遺構群は確認できなかった。

一方、E区も同様な、濃飛流紋岩を主体とする礫群が検出された。ここでも、旧河道の西岸側からの投棄あるいは崩れたような様相を呈しているものもあるが、検出レベルおよび礫の方向に規則性が認められるものもあり、一部は元位置を保っているものと考えられる。また、斜面部において、重層的な重複関係が認められ、この礫群の形成が垂直方向にも行なわれたことが窺われる。この礫群を構成する礫の中には、被熱を受けた痕跡が認められるものが多数存在する。礫群の中からは、折戸53窯式に比定される灰釉陶器から山茶碗第7型式までが多量に出土し、青磁碗も出土した。さらに、礫群の下および周囲から土坑群が検出された。土坑群は5m四方の範囲に10基ほどが密集するという、切り合い関係をもって連続・重複している。土坑は1m四方のものから2m四方のものまで、大きさは様々で、隅丸方形を呈するものもあれば楕円形状を呈するものもある。土坑内からは遺物の出土は少ないものの、一土坑埋土中からは山茶碗が正位で出土している(111SK)。ま

た、調査区北壁付近では、動物の歯（恐らくウマか）と多量のモモ種子を包含する土坑群が検出された（112SK・115SK・264SK）。これらの土坑は同位置に重複して形成されている点が注目される。

この旧河道は、大局的にはD区・E区の東端から東側に向って展開しているといえるが、D区・E区で確認できたものはそのうちの支流というべきものである。特にE区では、土坑下の流路下層では古代の須恵器を出土しているが、灰釉陶器などの出土は皆無である点などから、土坑・礫群の形成が形成された時は、常時の流水がなくある程度の土壌が堆積した段階であったと推測される。

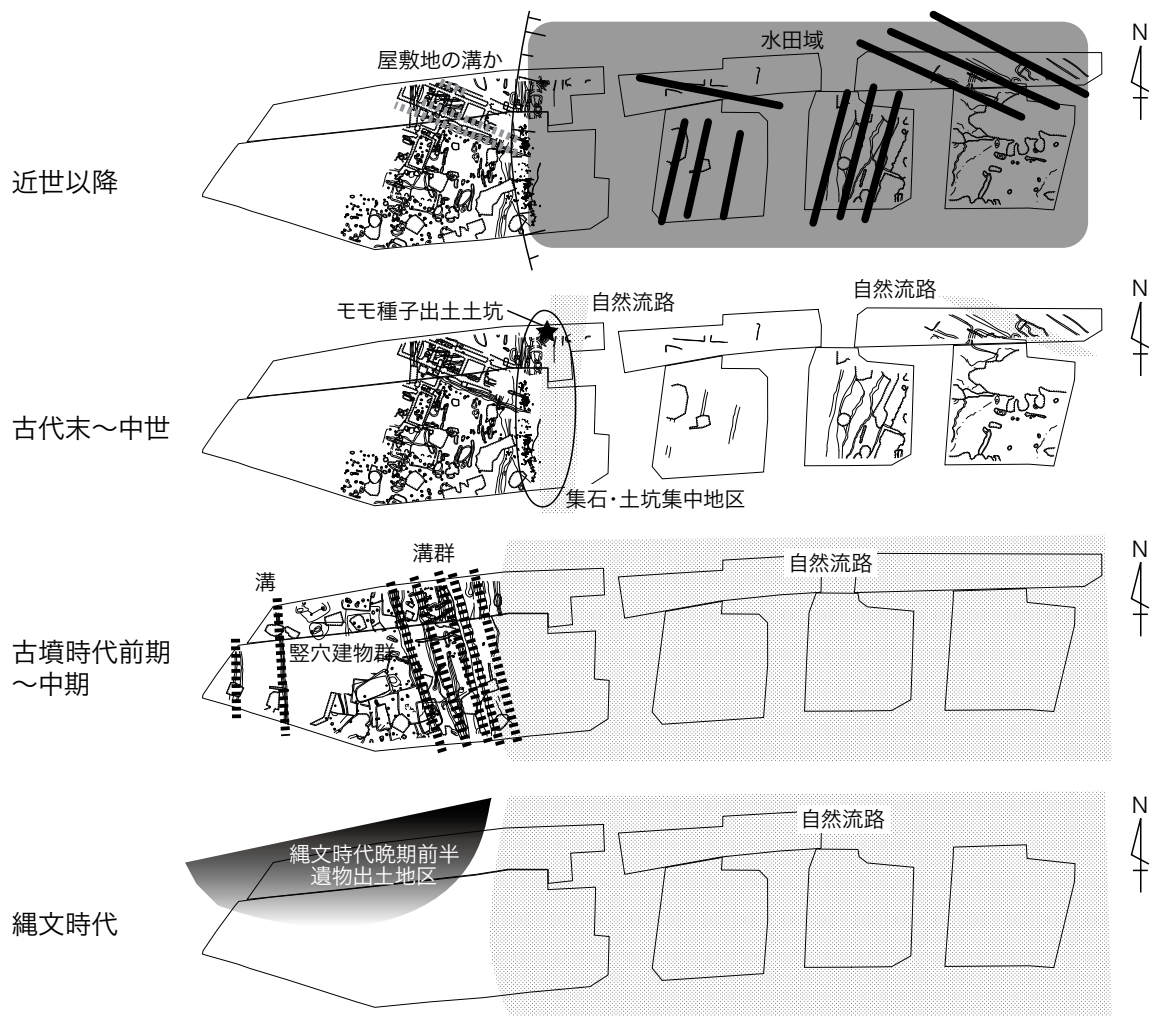
戦国期～ 屋敷地に伴う溝群と、不定形な土坑が検出された。また、旧河道内では、水田跡が検出
近世以降 されている。溝群は、地籍図にある地割りの方向に合致しているようである。

2. A区・B区・C区・F区

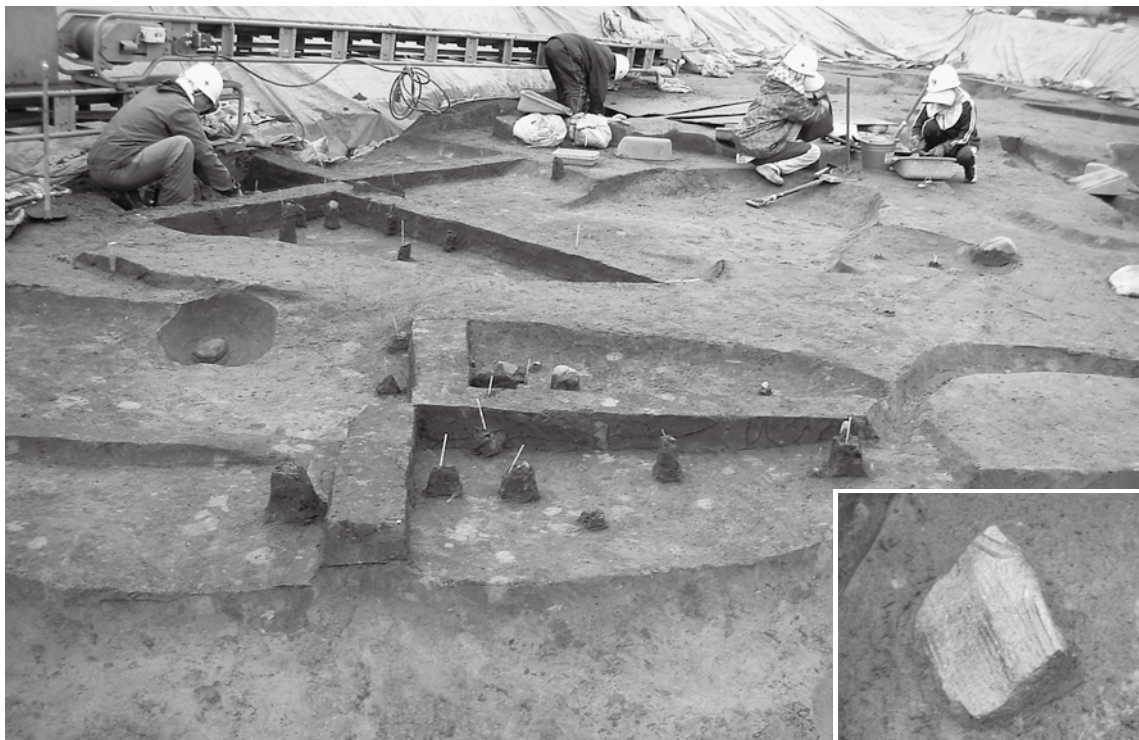
大きくは、旧河道の内部に相当するようであるが、A区とFb区では、中洲状あるいは流路の肩部に当たっていたようであり、A区には若干古代の須恵器を出土する褐色シルトの包含層が検出され、Fb区にも黒褐色を呈するシルト層が古代に形成された可能性が考えられる。旧河道内で検出された遺構は水田跡であり、場所によっては垂直方向に重複して検出されている。時期は、近世期以降と考えられるが、一部は戦国期までさかのぼる可能性があるかもしれない。

総括 今年度の調査成果をまとめると、次のようになる。

1. 御山寺遺跡では、東西幅500m以上の長い遺跡である。これまで各調査区で個々の帰属時期の遺構が検出されていたが、D区・E区では、層序関係をもって密に保存されている状況が確認できた。
2. 縄文時代晩期前半の遺物群がややまとまって出土した。出土遺物のほとんどが土器である点や黒色土の形成を含めた遺跡形成の状況を勘案した上で、当時の人たちの活動の様相を探る具体例として、今後詳細な分析をしなくてはならない。また、出土土器には、名古屋台地から西側に認められる、いわゆる半截竹管による連続刺突文が認められない点は、多いに注目されよう。
3. 古墳時代前期を中心とする集落跡が見つかった。特に注目されるものは、旧河道に併行してつくられた溝群と付近に形成された土器集積の存在である。また、竪穴建物跡の掘り方には、西三河地域との共通性が窺えられるものも存在しており、遺跡の性格を考える上で重要な事柄かもしれない。
4. 古代末から中世前半期にかけての、礫群および連続した土坑群の検出は、今回の大きな成果である。瀬戸市惣作・鐘場遺跡など、他遺跡においても、被熱した礫や炭化物痕のある山茶碗が流路内に流入した状態で多量に出土する例がしばしば知られている。これまでの調査ではその他の明確な遺構の検出が認められない場合がほとんどであったが、当遺跡の事例では、連続した土坑の認められたほか、一部の礫は元位置を保ったと考えられる状態で検出された。出土遺物には灰釉陶器と山茶碗があるが、中世の施釉陶器である古瀬戸片がほとんど出土していないことが特に注目される。ウマと考えられる動物の歯とともにモモ種子の多量出土も勘案すると、非仏教系の祭祀行為が行なわれた可能性も視野に入れて、今後の整理・分析を行なう必要がある。（川添和暁）



御山寺遺跡における遺構の変遷 (1/2,500)



07E区縄文時代遺物出土状況 (東より)

出土した縄文土器



07D区古墳時代検出遺構全景(東より)

古墳時代土器集積検出状況



モモ種子出土状況

07E区礫群検出状況(北より)